

上士幌町道の駅実施設計

— 実施設計書【概要版】 —

平成31年3月

日本都市設計・ズコーシャ・都市整備コンサルタント特定委託共同企業体

目次

- 01 設計方針・基本コンセプト
- 02 配置計画・平面計画

■ 基本設計方針

本設計は、「上士幌町交流・移住促進拠点基本計画」にもとづき、下記の5項目の基本方針により基本設計を進める。

- ①道路利用者にとって楽しくて、いざというときには頼れる施設となる
 - ・休憩施設としての楽しさや快適性を高め、道路利用者に利便と安全を提供する
 - ・防災拠点としての位置付け、緊急時に道路利用者の避難拠点とする
- ②まちの楽しさを伝え交流と町民活躍の場とする
 - ・年間を通じた有料イベントによる楽しみや町民の活躍を通じ「このまちに暮らしたい」と思える交流の機会を夏季・冬季にかかわらず提供する
 - ・上士幌町への移住に関わる情報提供によって、さらなる人口増加を図る
 - ・高齢者が生き生きと働き、生涯現役で活躍できるまちの姿を示す
- ③磨き上げた上士幌町の資源のショーケースとして域外の消費力を呼び込む
 - ・来訪者にとって魅力的な商品販売に向けた企画開発や製造の促進、観光消費の拡充に向けた新たな体験観光の構築など、上士幌町の資源を磨き上げ域外の消費力を呼び込む
 - ・地産地商・起業・起農・起働
 - ・食品、工芸品などの商品化に向けた「農業技術研究センター」の活用
- ④集客を町内の観光や地域の拠点へと周遊させる(DMO体制の拠点)
 - ・町内や周辺の拠点と連携し集客を町内や広域へと周遊させる起点とする
- ⑤十勝観光、上川圏との連携を図り、上士幌町の主要交通網における生活利便向上の可能性を高める
 - ・上士幌町を目的地とする主要道路の交通量増加と車線複線化に向けた活動の基盤とする

～ 交流移住・地場産業・暮らしを次のステージに押し上げる道の駅 ～

■ 必要導入機能

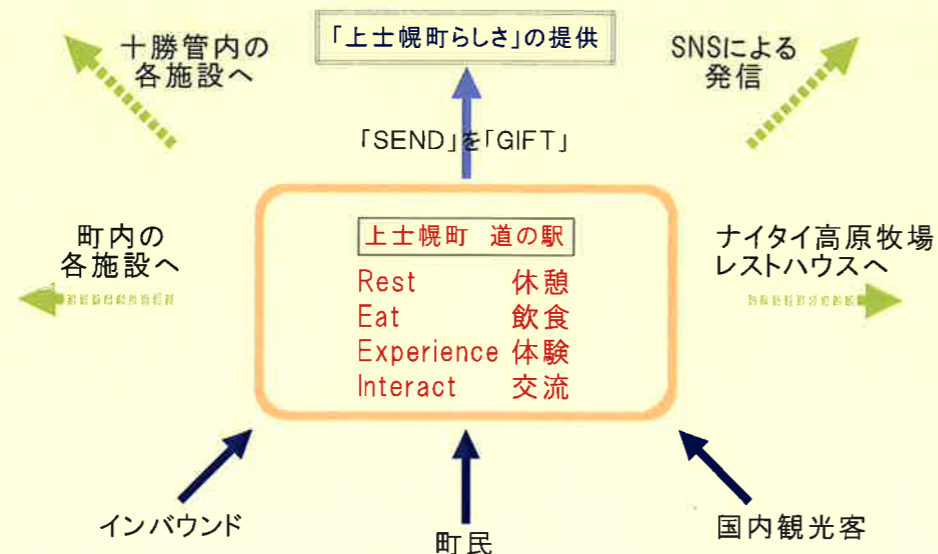
- 駐車スペース
- 24時間利用可能トイレ
- 休憩機能(屋内外共)
- 道路情報提供機能
- 地域連携機能
 - ・無料職業紹介窓口
 - ・移住ワンストップ窓口
 - ・ふるさと納税申込み窓口
 - ・観光情報提供機能
 - ・DMO(観光地づくり推進法人)の事務所機能
 - ・熱気球係留などの屋外イベントや、雨天時や冬期など年間を通して集客促進に効果的かつ収益性を担保できる屋内イベント開催に適したイベント空間
 - ・地域特産品販売・飲食等、収益事業機能、及びこれらの集客促進に配慮した機能



■ 基本コンセプト = DMO事業コンセプト + 建築コンセプト

観光地域づくりのコンセプト = FRESHNESS COMFORT 「鮮度が豊かさ」

「鮮度」というモノサシで、「上士幌の生活の豊かさ」を捉えなおし、「鮮度」というキーワードで、町民と共に観光地域づくりを進めていく事業。



* DMO (= Destination Management Organization) : 観光地域づくり推進法人

北の大地の大自然を「GIFT」する道の駅
～ 上士幌町 道の駅 仮称：「バルーン」～

上士幌道の駅では「Farm fresh」をコンセプトとして、北の大地の豊かな農林水産物、加工品、食、豊かな時間(交流・滞在・宿泊・体験・サービス)を「GIFT」する情報ステーションとして様々な事業をおこなう。

- コンシェルジュを設けた丁寧な「おもてなし」の提供
- 上士幌町ならではのプレミアムな観光体験プログラムの造成・提供
- 早朝熱気球フライトに必要な「GEAR&STAY SERVICE」の提供
- 「採れたて鮮度」を活かした、目の前で調理・提供する Eat in Style の提供
- 地域参加型の農畜産物を主軸とした商品開発・販売
- 商品発送機能を備えた、鮮度の高い物品販売
- 毎週のイベント開催
- 外に開かれた FRESHNESS COMFORT な休憩場所の提供
- 上士幌町の商店街や各観光地へ誘客する観光情報案内

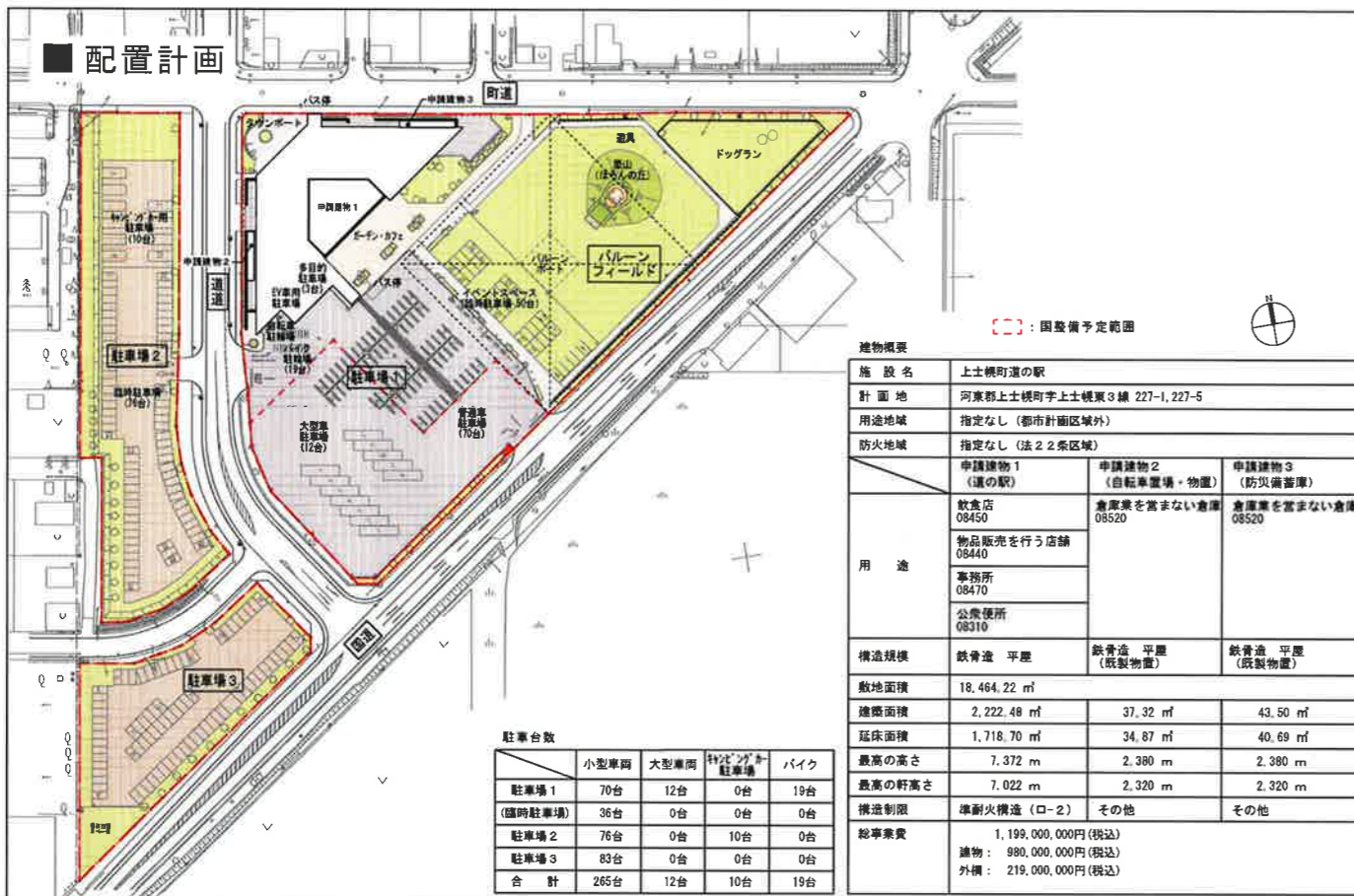
交流

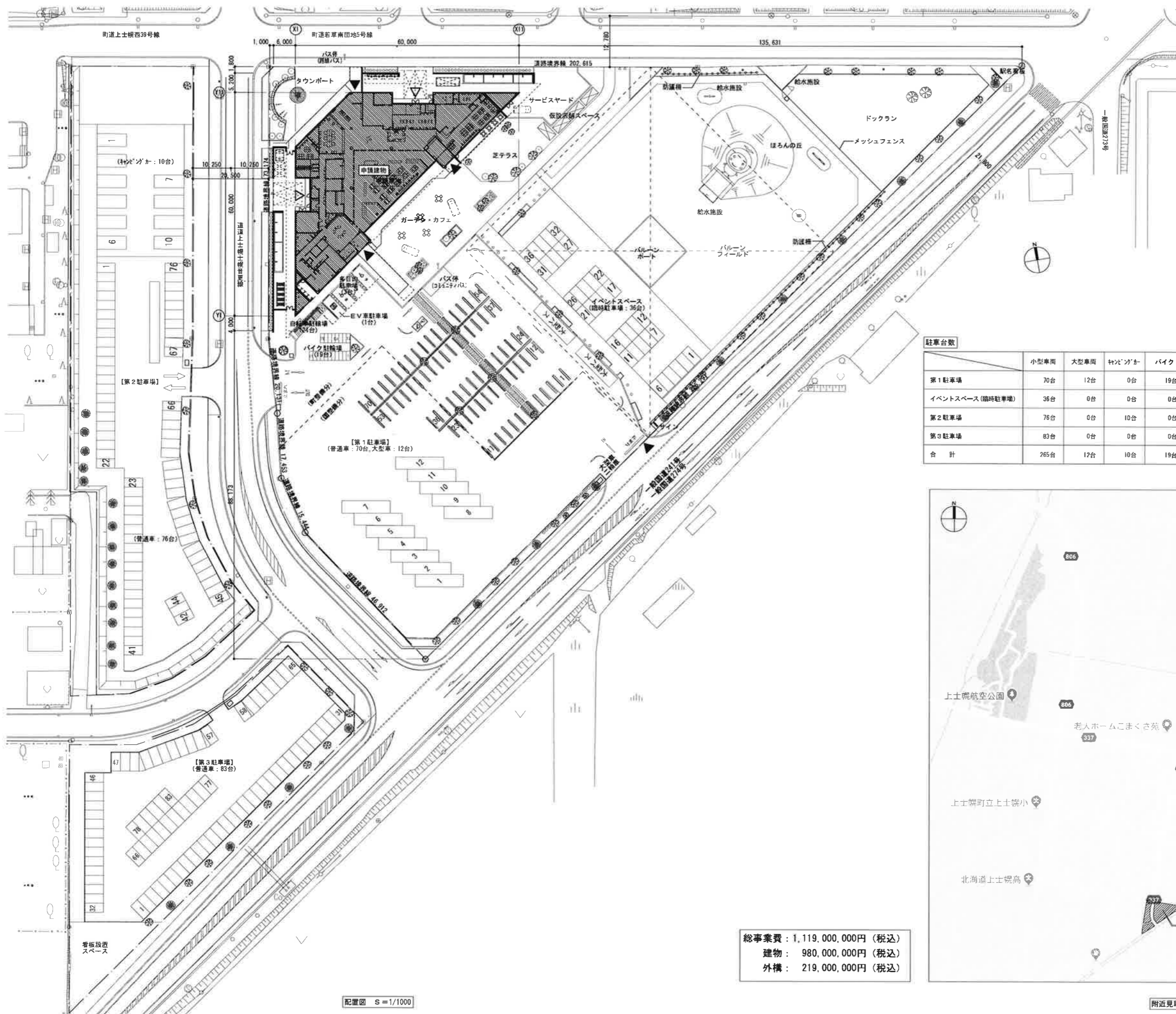
体験

飲食

物販

休憩

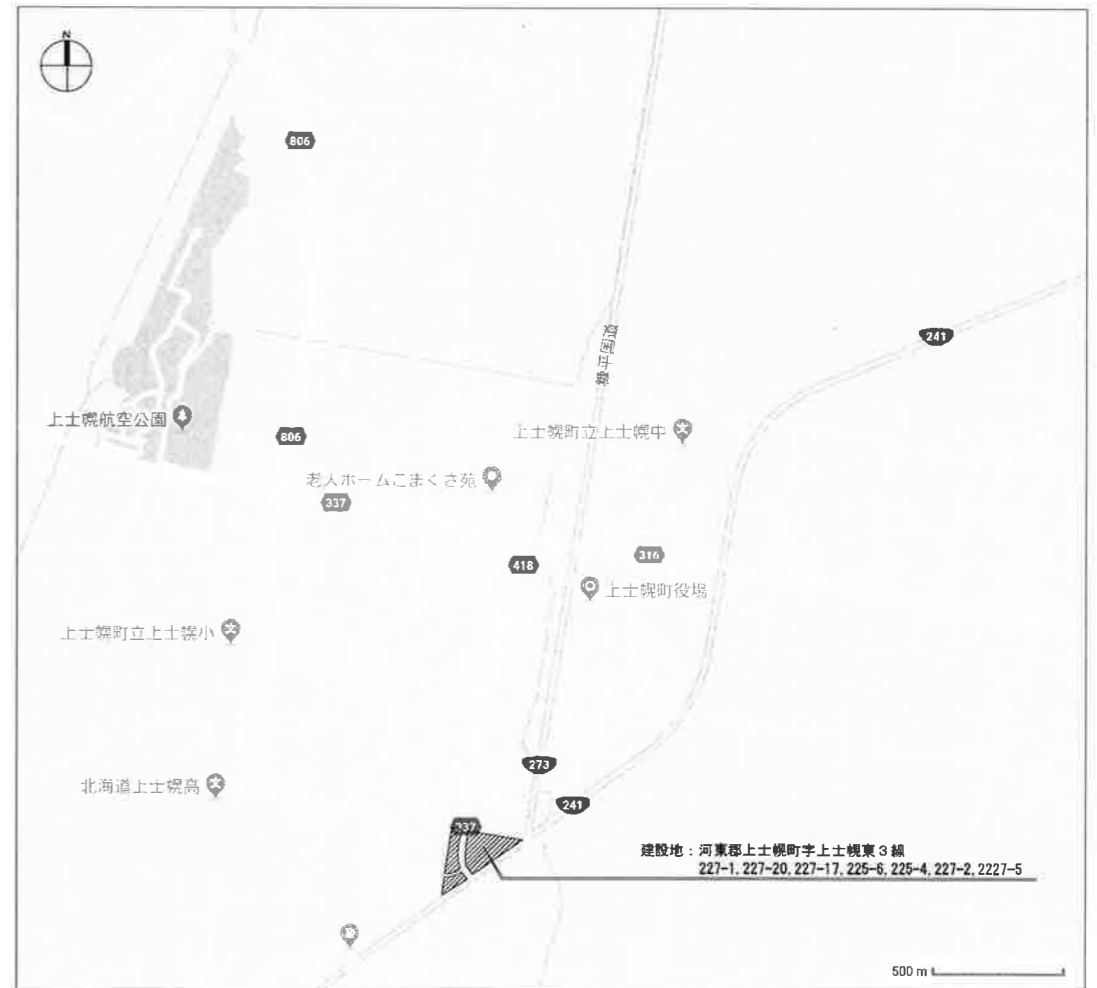


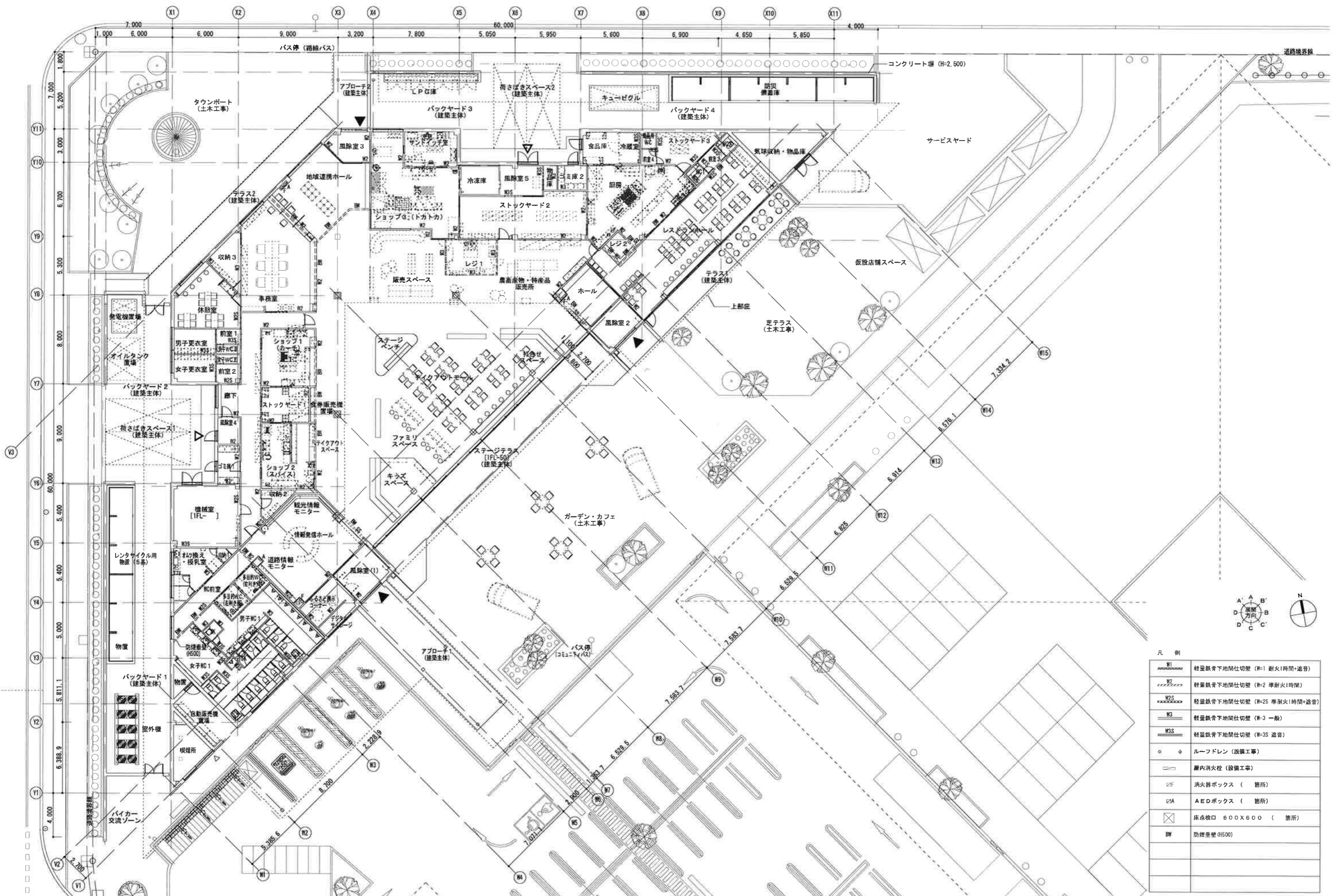


建築概要			
工事名	上士幌町の駅建設工事		
計画地	河東郡上士幌町上士幌東3線 227-1, 227-20, 227-17, 225-6, 225-4, 227-2, 2227-5		
敷地	敷地1 (道の駅敷地)	敷地2 (ワゴンカー・臨時駐車場)	敷地3 (職員駐車場敷地)
用途地域	指定なし	指定なし	指定なし
防火地域	指定なし	指定なし	指定なし
その他区域	法22条区域	法22条区域	法22条区域
用途	飲食店 08450 物品販売を行う店舗 08440	-	-
構造規模	鉄骨造 平屋	-	-
敷地面積	18,450.00 m ²	5,100.00 m ²	3,360.00 m ²
延床面積	1,540.00 m ²	-	-
建築面積	2,340.00 m ²	-	-
最高の高さ	7.35 m	-	-
最高の軒高さ	6.95 m	-	-

駐車台数				
	小型車両	大型車両	ワゴンカー	バイク
第1駐車場	70台	12台	0台	19台
イベントスペース(臨時駐車場)	36台	0台	0台	0台
第2駐車場	76台	0台	10台	0台
第3駐車場	83台	0台	0台	0台
合計	265台	12台	10台	19台

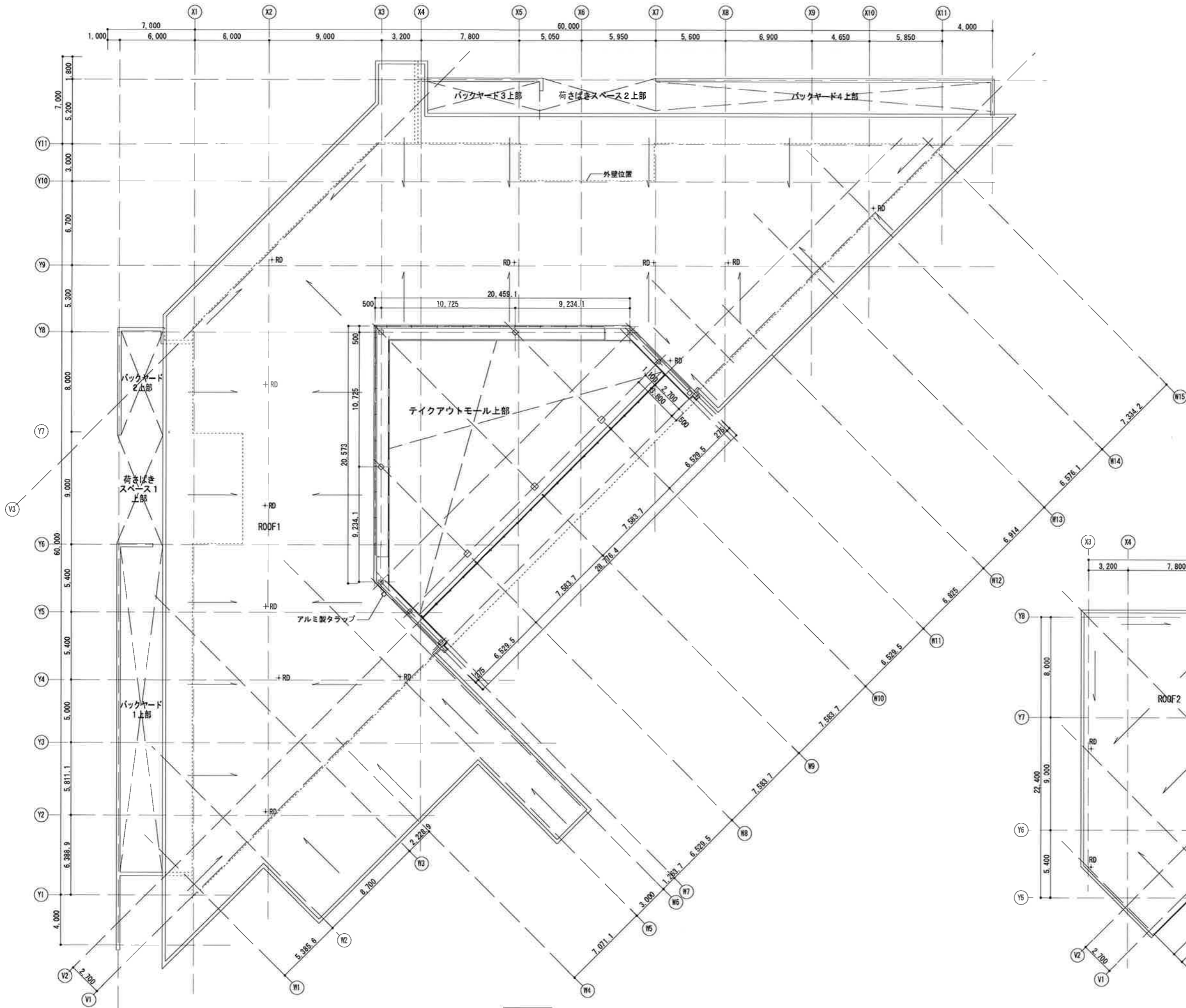
総事業費：1,119,000,000円(税込)
 建物：980,000,000円(税込)
 外構：219,000,000円(税込)



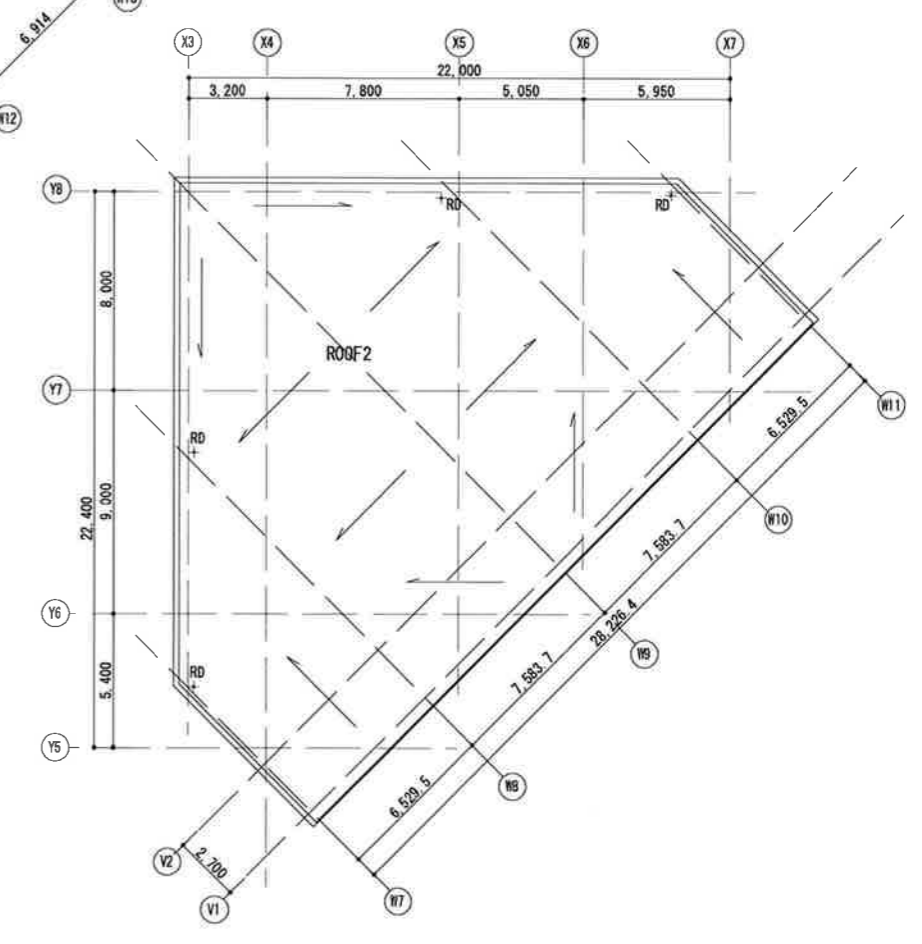


凡例

W1	軽量鉄骨下地間仕切壁 (R=1 耐火1時間+遮音)
W2	軽量鉄骨下地間仕切壁 (R=2 耐火1時間)
W2S	軽量鉄骨下地間仕切壁 (R=2S 準耐火1時間+遮音)
W3	軽量鉄骨下地間仕切壁 (R=3 一般)
W3S	軽量鉄骨下地間仕切壁 (R=3S 遮音)
○ ◆	ルーフドレン (設備工事)
—	屋内消火栓 (設備工事)
□ F	消火器ボックス (箇所)
□ A	AEDボックス (箇所)
□	床点検口 600X600 (箇所)
BW	防煙垂壁 (H500)



RF 1 平面図

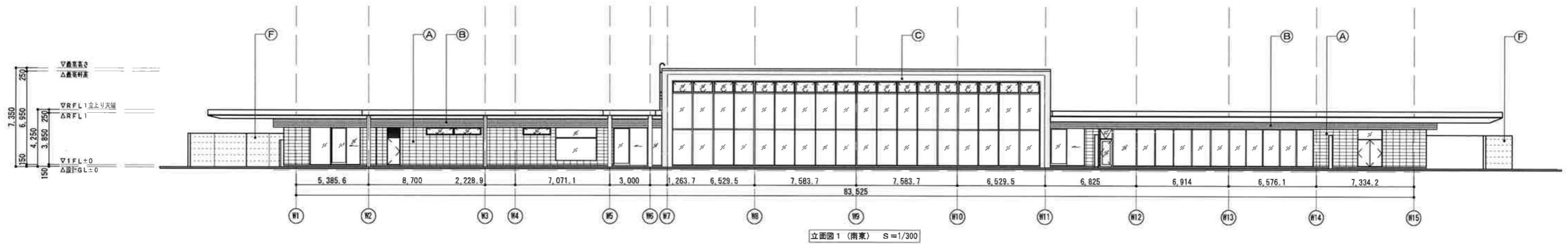


RF 2 平面図

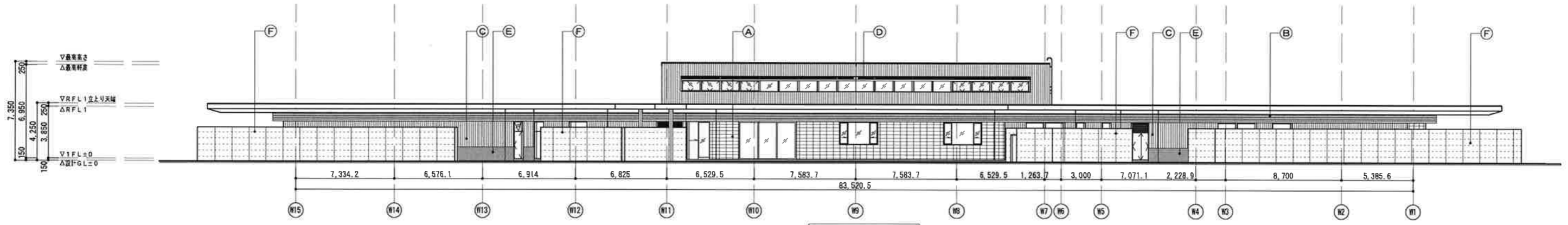
凡例

+ RD	ルーフトレン (設備工事)

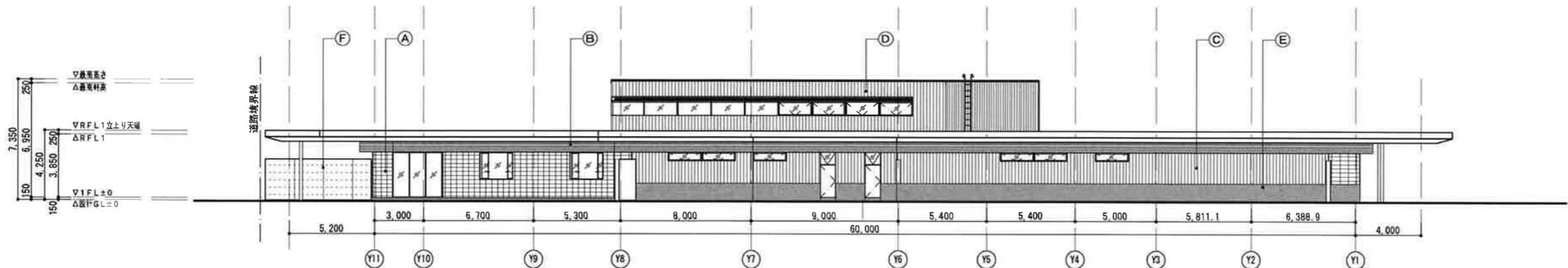




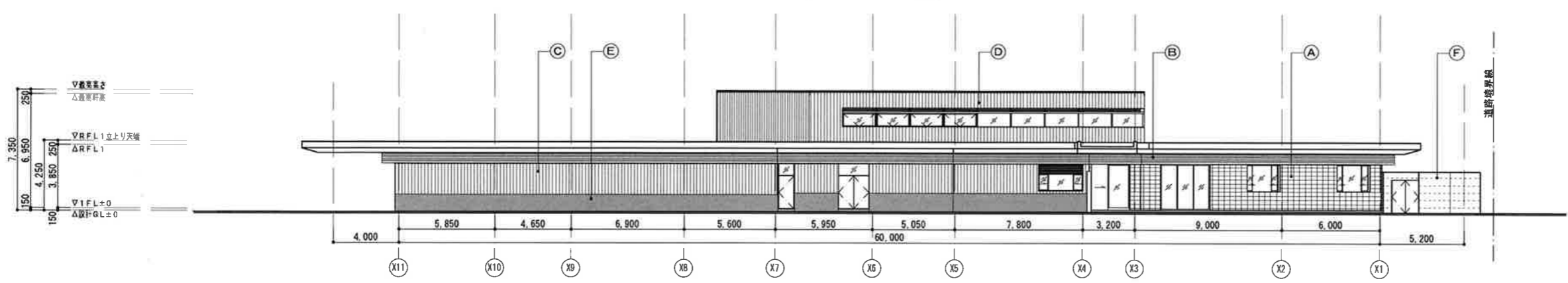
立面図1 (南東) S=1/300



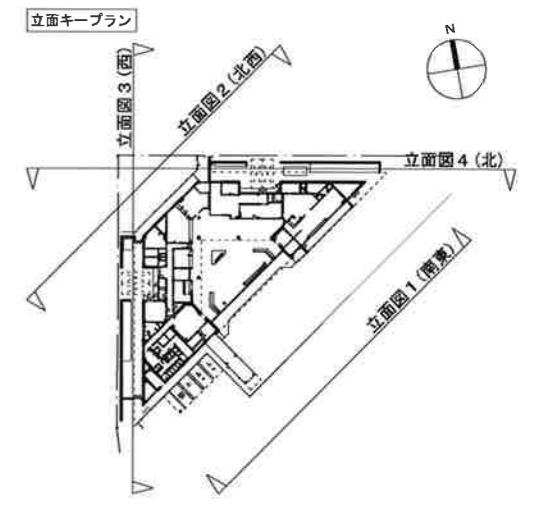
立面図2 (北西) S=1/300



立面図3 (西) S=1/300

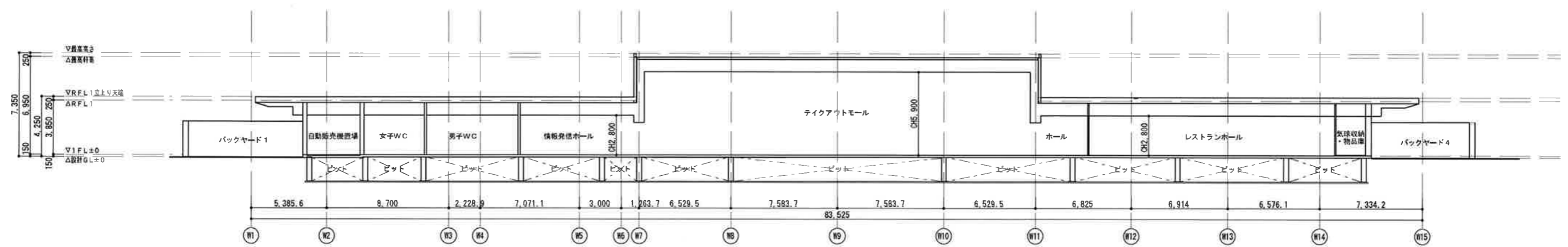


立面図4 (北) S=1/300

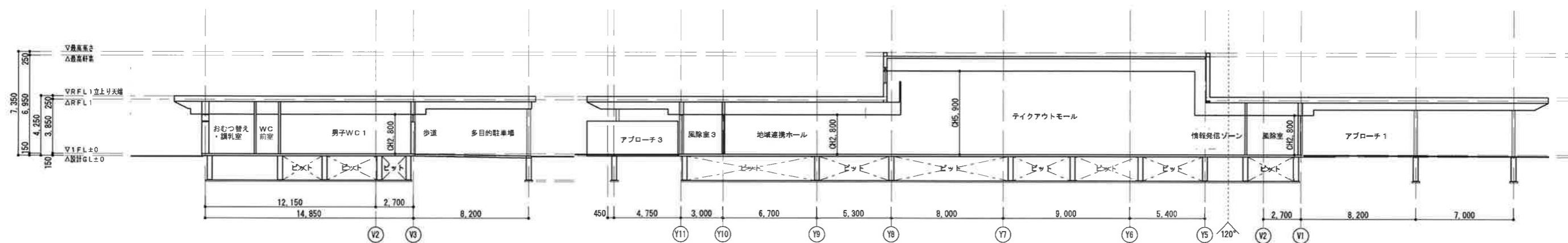


凡例

(A)	レンガタイル (乾式工法)
(B)	ガルバリウム鋼板 t0.40 (一文字置き)
(C)	ガルバリウム鋼板 t0.40 (目地無スバンドレル)
(D)	ガルバリウム鋼板 t0.40 (縦ハゼ置き)
(E)	コンクリート打ち放し~撥水材塗布
(F)	コンクリート打ち放し (木目調) ~撥水材塗布

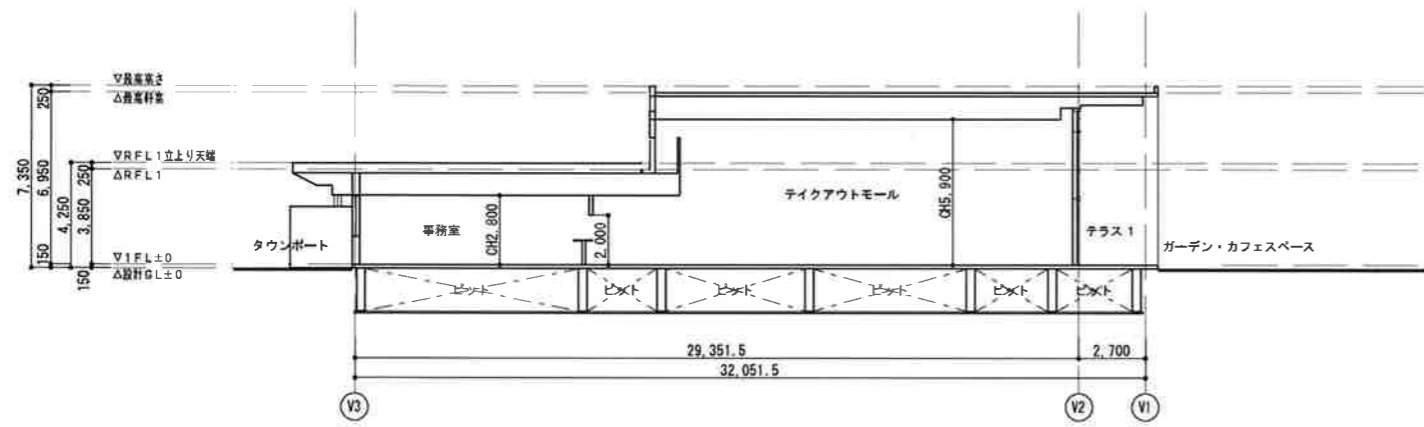


断面図1 S=1/300

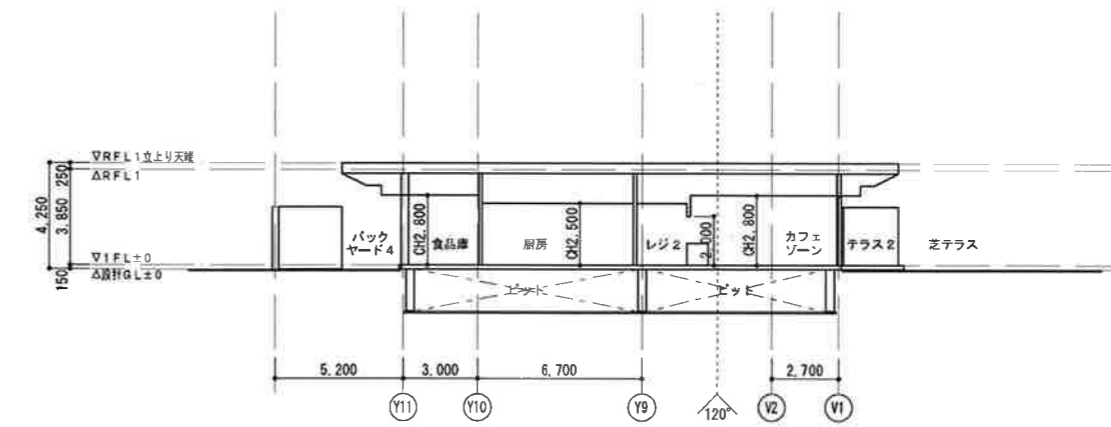


断面図2 S=1/300

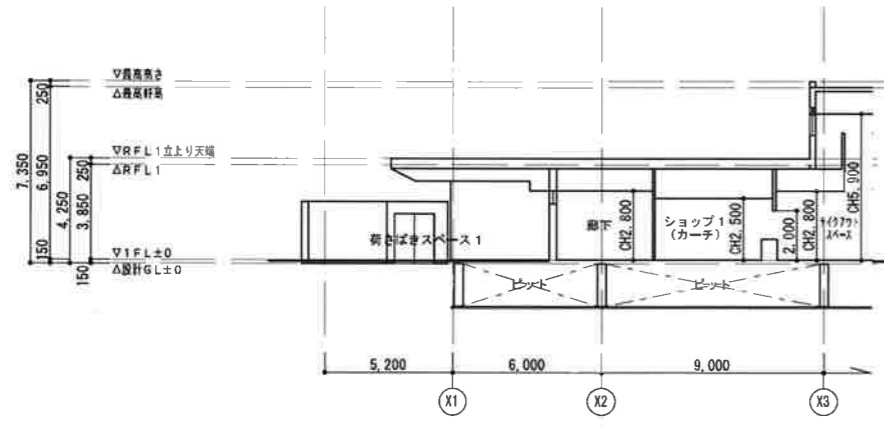
断面図3 S=1/300



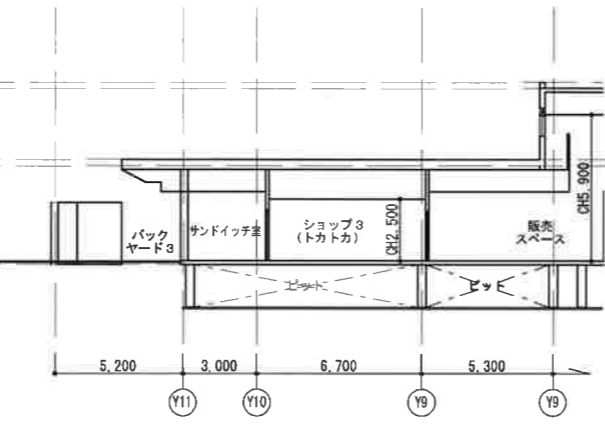
断面図4 S=1/300



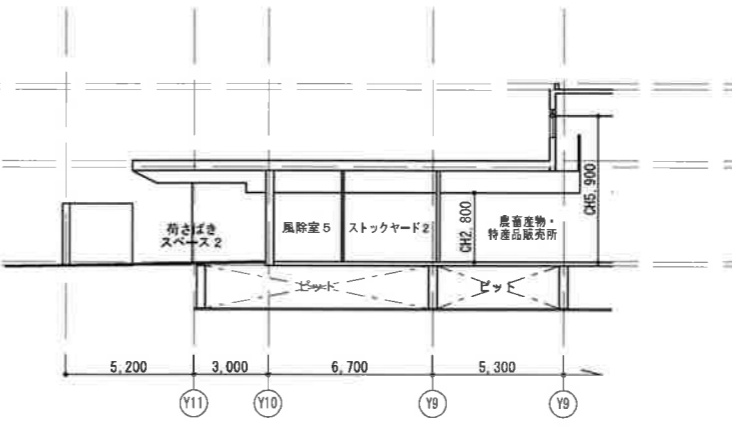
断面図5 S=1/300



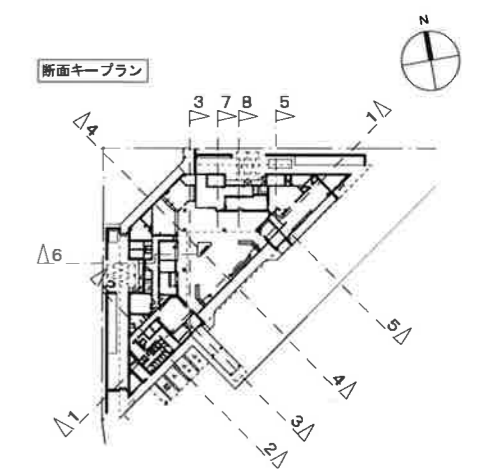
断面図6 S=1/300



断面図7 S=1/300



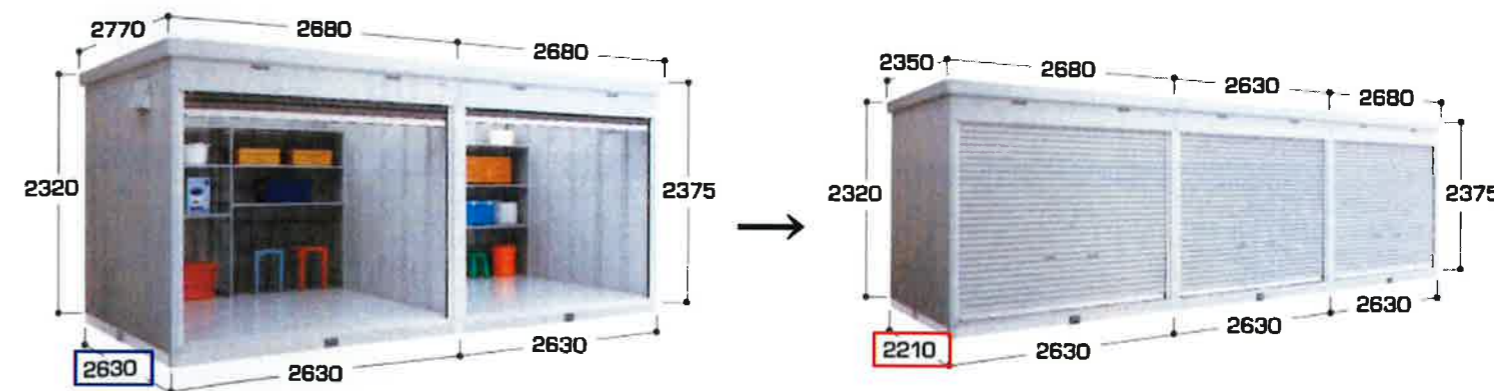
断面図8 S=1/300



<道路境界の塀検討資料>

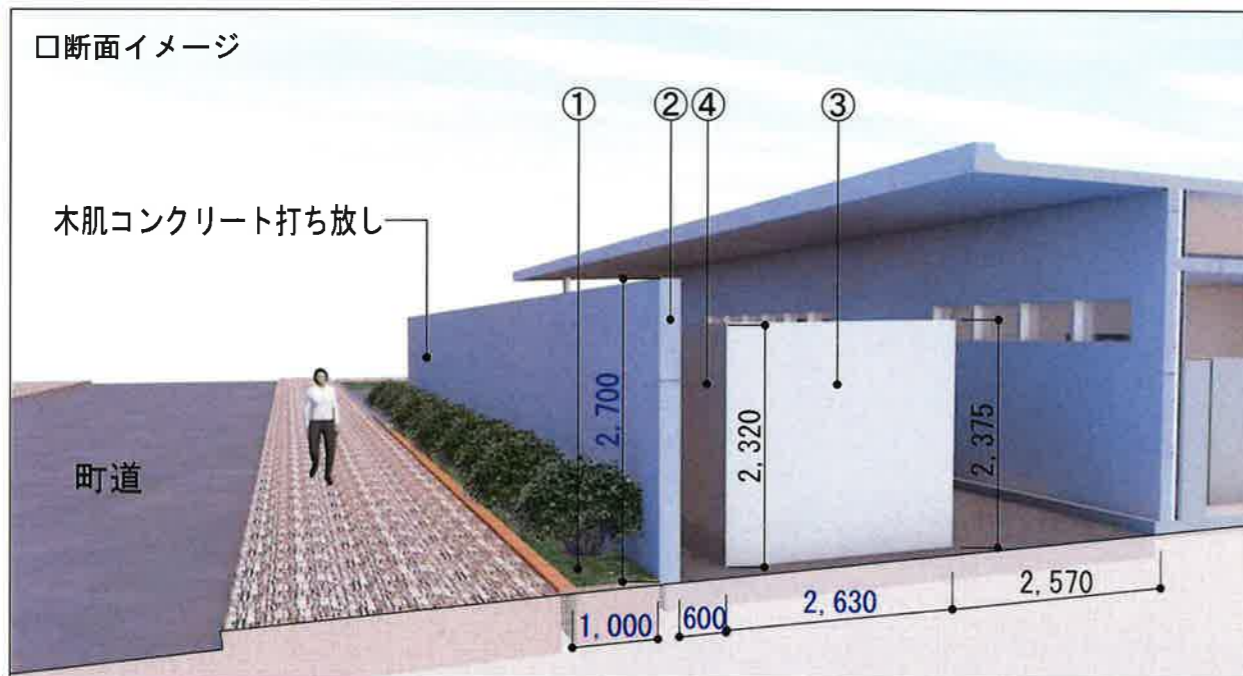
	現状案		改善案
① 緑地帯幅員	1m	→	1.8m
② 塀の高さ	2,700mm	→	2,500mm
③ 物置の奥行き	2,630mm	→	2,210mm
④ 塀と物置の離れ	600mm	→	230mm
⑤ 植栽	低木	→	低木・中木
⑥ 擁壁仕上げ	木肌コンクリート打ち放し		
⑦ 屋外照明	防犯上、夜間暗がりにならないよう配慮		

□物置イメージ



現状案

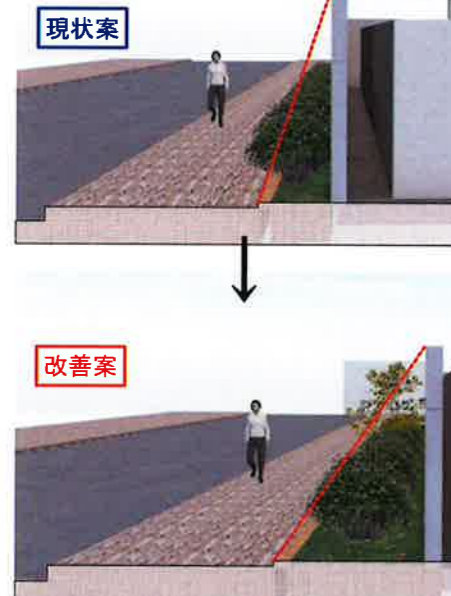
□断面イメージ



□反対歩道から見たイメージ

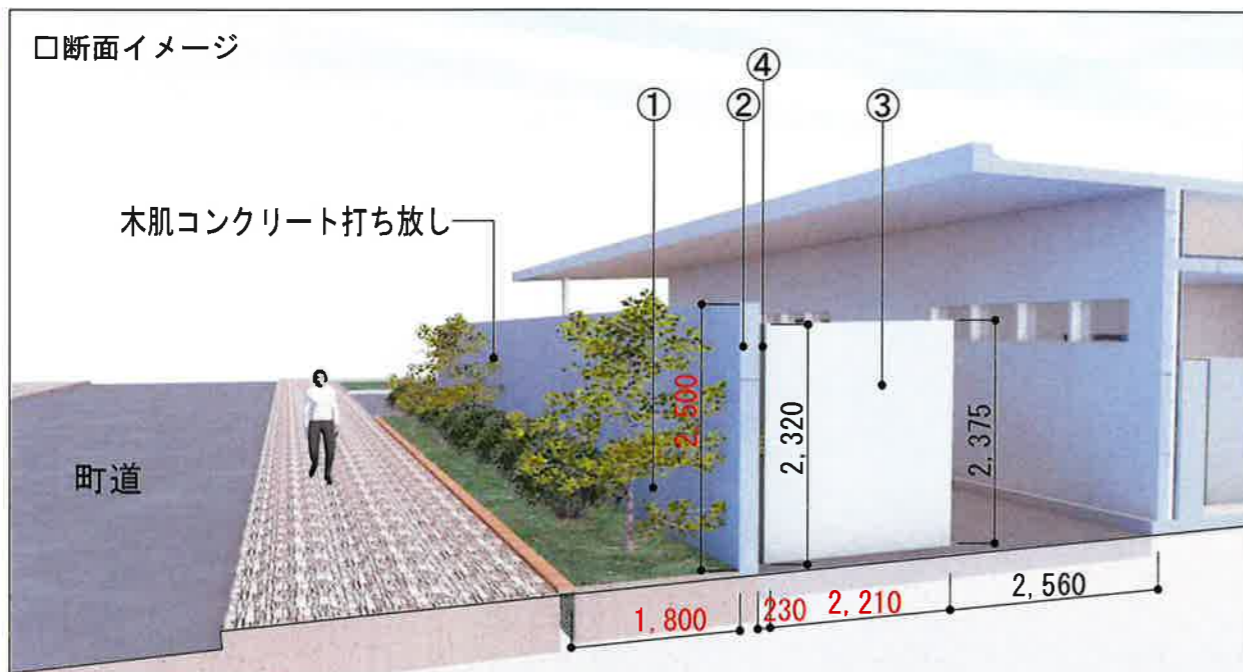


□圧迫感の軽減

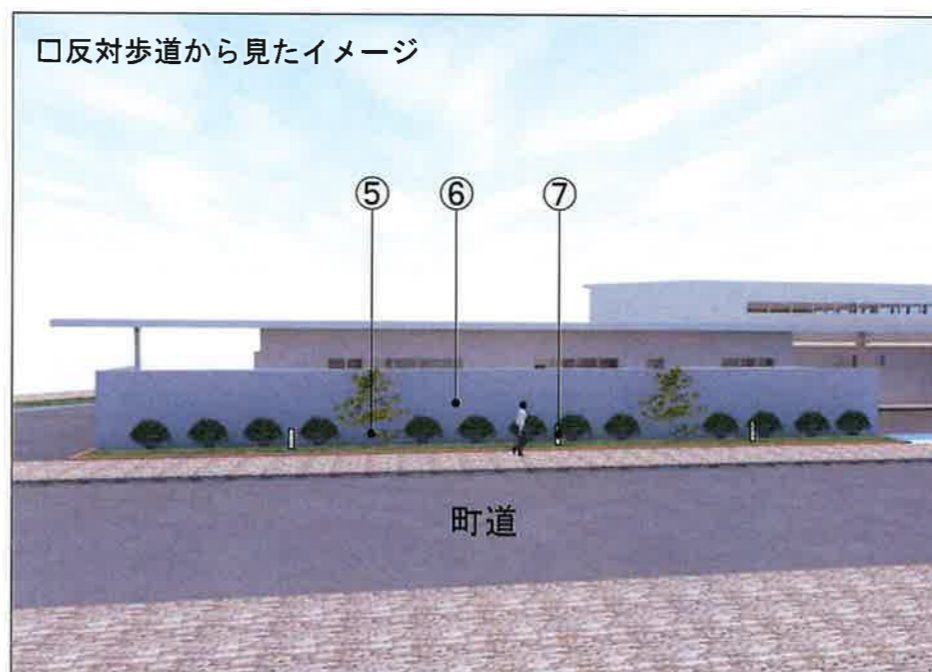


改善案

□断面イメージ



□反対歩道から見たイメージ



□施工イメージ







